

経営比較分析表（令和2年度決算）

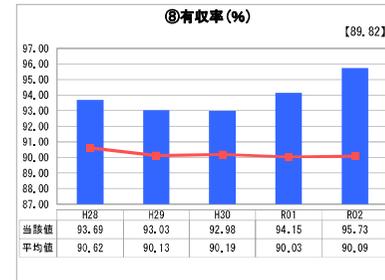
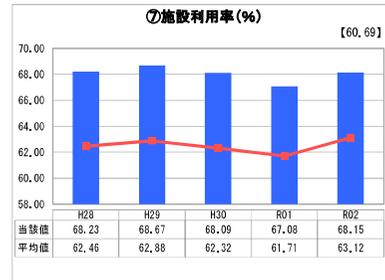
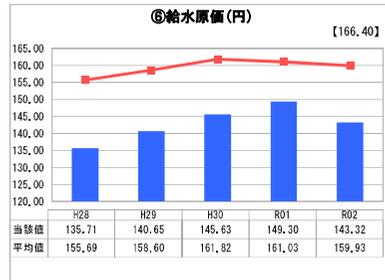
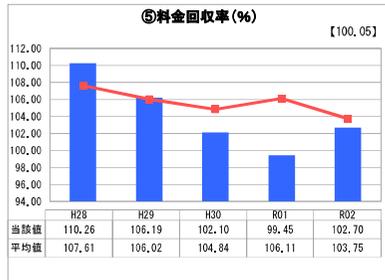
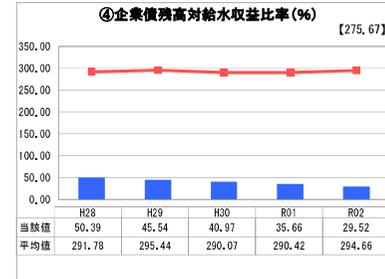
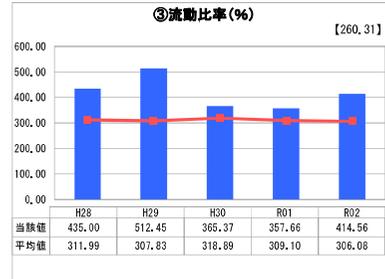
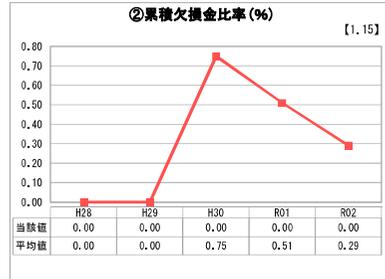
埼玉県 草加市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	未端給水事業	A2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)	
-	93.16	100.00	2,475	

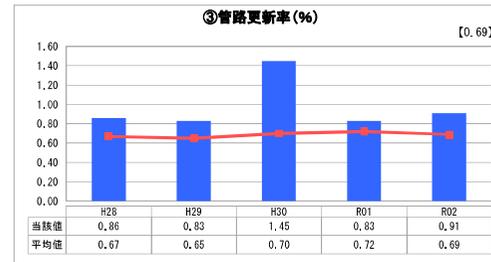
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
250,225	27.46	9,112.35
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
250,579	27.46	9,125.24

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 令和2年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

経営状態については、類似団体と比べ、⑥給水原価は大きく下回り、⑧有収率も高く、⑦施設利用率も高水準を維持していることから、効率的な運営を維持することができていると言える。

①経常収支比率及び⑤料金回収率は近年低下傾向にあったが、令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響で給水収益が増加したことなどにより上昇した。しかしながら、新型コロナウイルス感染症が給水収益に与える影響は今後不透明であるとともに、節水機器の普及などにより給水収益及び供給単価が減少傾向にあることから、今後も費用節減の努力を続けるとともに、水道料金の検討を行うことが喫緊の課題となっている。

④企業債残高対給水収益比率は類似団体と比べかなり低い値となり、企業債(借金)に頼らない経営が行われているが、今後、施設の更新を進めるに当たり企業債の借入を行う必要があるため、増加傾向となる見込みである。

なお、平成28年度の①経常収支比率及び⑤料金回収率の数値が例年に比べ突出して良好な数値を示しているが、料金収入以外の収入(加入分担金)の一時的な増加によるものである。

2. 老朽化の状況について

③管路の更新率は平成27年度に策定した基幹管路の更新計画により耐震化事業を推進したため、平成28年度から更新率が向上し、維持することができている。それに伴い、②管路の経年率も類似団体を下回っているが、①有形固定資産減価償却率は類似団体より高い値となっており、施設の老朽化度の改善を図るほどには至っていない。

将来の水需要及び財政状況を鑑み、浄水場耐震化事業等で大きな費用増が見込まれることから計画的かつ効率的に施設整備を推進していく必要がある。

全体総括

草加市の水道事業の経営状況については、現状では健全な経営が行われているものの、老朽化施設の更新や耐震化事業等の投資は増加していく見込みであり、その財源として企業債(借金)の借入を行う必要性が生じている。また、令和2年度は新型コロナウイルスの影響で特異値となったが、経常収支比率や料金回収率が近年低下傾向であることから、安定した財源の確保に向け、水道料金を検討することが喫緊の課題となっている。

これらの課題は、水道事業ビジョン(経営戦略)の中で将来的な収支ギャップを解消する取組として挙げられている取組である。ビジョン上で他に挙げられている水道施設の効率的・効果的な更新、水道施設のダウンサイジングについても留意しつつ適切な事業運営を推進していく。

経営比較分析表（令和2年度決算）

埼玉県草加市 草加市立病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
条例全部	病院事業	一般病院	300床以上～400床未満	学術・研究機関出身
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	26	対象	透I 訓方	救 臨 災 輸
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	不採算地区中核病院	看護配置
250,225	38,431	非該当	非該当	7：1

※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

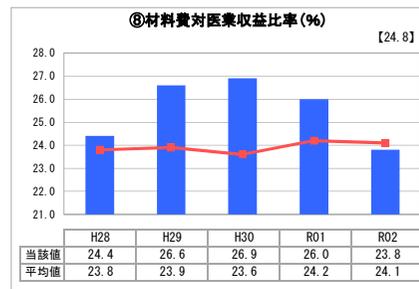
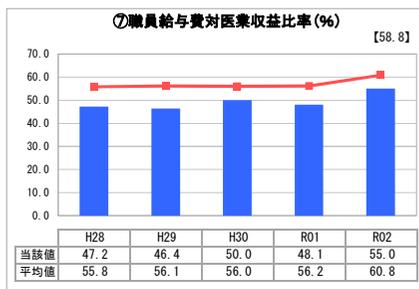
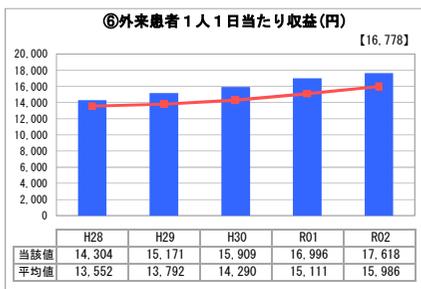
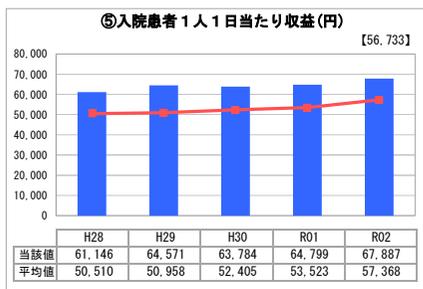
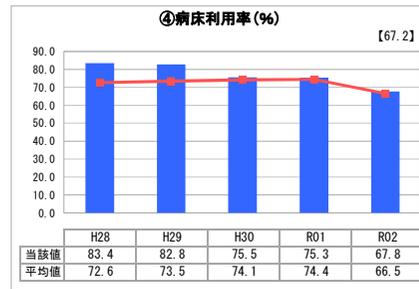
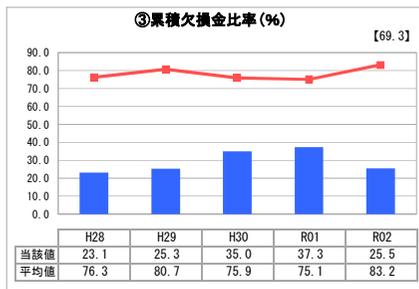
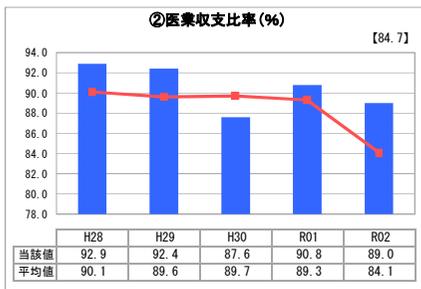
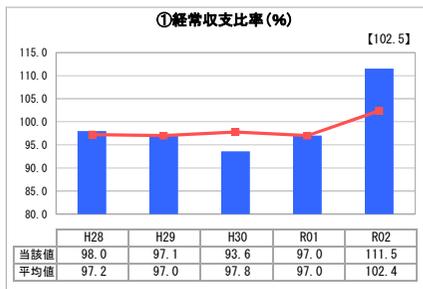
※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輸…病院群輪番制病院

許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
380	-	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	-	380
稼働病床（一般）	稼働病床（療養）	稼働病床（一般+療養）
372	-	372

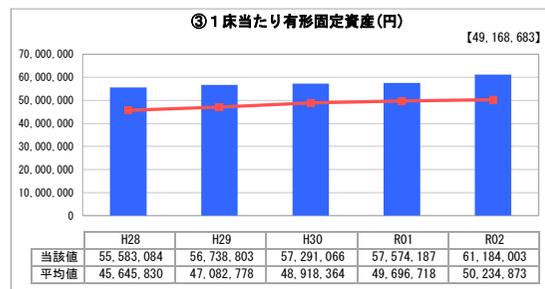
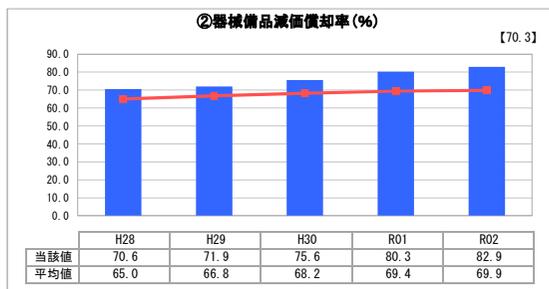
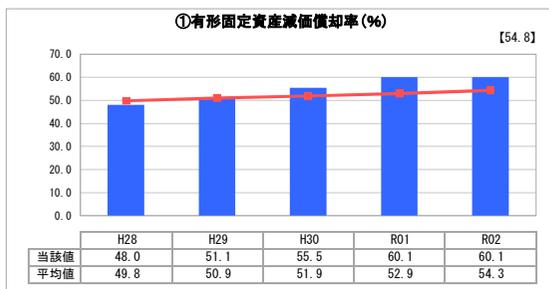
グラフ凡例

- 当該病院値（当該値）
- 類似病院平均値（平均値）
- 【】 令和2年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



公立病院改革に係る主な取組（直近の実施時期）

再編・ネットワーク化	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
-	-	-
年度	年度	年度

I 地域において担っている役割

地域における基幹病院として、救急医療や高度医療などの急性期医療を提供するとともに、大規模災害等に対応する医療機能を備えた災害拠点病院としての役割を担っている。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

令和2年度は、新型コロナウイルスの感染拡大の影響による患者数の減少から、②医療収支比率、④病床利用率が例年の数値を下回っている。一方で新型コロナウイルスに係る補助金による医療外利益の増加の影響で①経常収支比率は例年の数値を上回っている。

⑧材料費対医療収益比率については、各医療機関の診療体制の違いによるものと推察される。経営状況については、上記のとおり全体の収益は増加しつつも医療収益は減少しているため、引き続き新型コロナウイルスの感染拡大防止対策に尽力しつつ、医療収支の改善を図る必要がある。

2. 老朽化の状況について

施設全体の老朽化度を示す①有形固定資産減価償却率及び②器械備品減価償却率が、類似団体と比較して高いことから、更新サイクルを分析し、計画的な更新をしていく必要がある。

また、③1床当たり有形固定資産も類似団体と比較して高い要因として、診療体制の充実に伴う増築及び高額医療機器の購入等が影響しているが、今後の更新時には、計画的な更新に併せて費用対効果や必要投資かの判断もしていく必要がある。

全体総括

地域の中核病院である当院は、救急医療・高度医療・災害医療等、地域住民にとって必要な医療を提供しているが、近年の経営状況は減少傾向にある。特に令和2年度は、昨年度よりも収益が改善しているものの、新型コロナウイルスの影響により医療利益が減少している。また、平成16年の新築移転から12年（令和2年度）を経過していることから、建築設備の老朽化も視え始めている。

これらのことから、引き続き新型コロナウイルスの感染拡大防止対策に尽力しつつ、医療収支の改善を図るとともに、「がん疾患の強化」及び「救急医療の維持」等の実践や地域の医療機関と連携を深め、地域医療支援病院を取得することで入院収益を確保し、経営改善を図るとともに、施設の更新計画を策定し、安定的で継続性のある病院事業を運営していくことが重要と考える。

※「類似病院平均値（平均値）」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。

経営比較分析表（令和2年度決算）

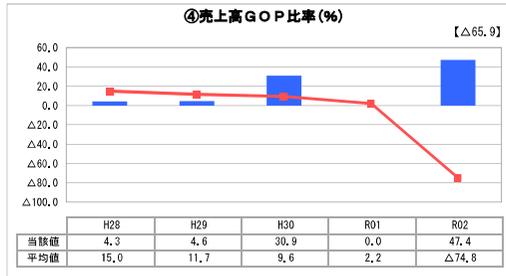
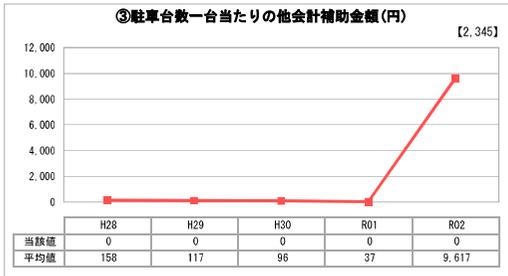
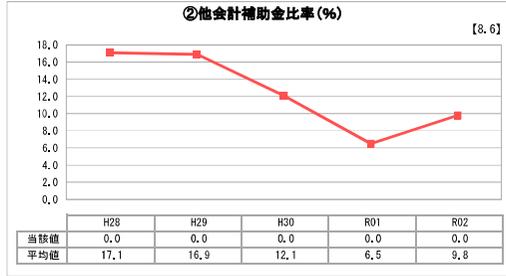
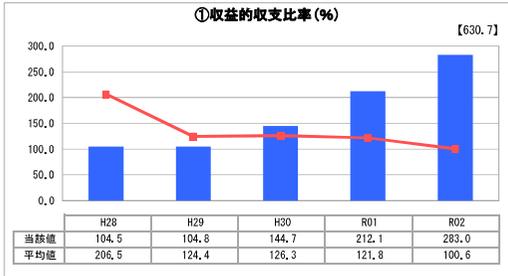
埼玉県草加市 シティパーキングアコス

業務名	業種名	事業名	類似施設区分	管理者の情報
法非適用	駐車場整備事業	-	A 2 B 1	非設置
自己資本構成比率(%)	種類	構造	建設後の経過年数(年)	
該当数値なし	都市計画駐車場 附置義務駐車施設	地下式	29	

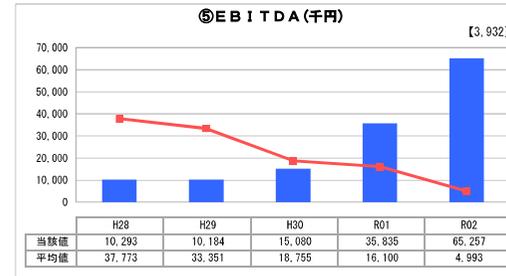
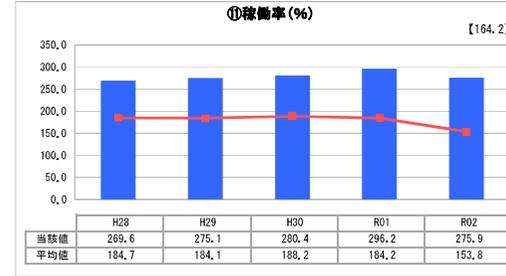
立地	周辺駐車場の需給実態調査	駐車場使用面積(m ²)
駅	無	23,112
収容台数(台)	一時間当たりの基本料金(円)	指定管理者制度の導入
474	300	利用料金制

グラブ凡例
■ 当該施設値(当該値)
— 類似施設平均値(平均値)
【】 令和2年度全国平均

1. 収益等の状況



3. 利用の状況



2. 資産等の状況

⑥有形固定資産減価償却率(%)

該当数値なし

⑦敷地の地価(千円)

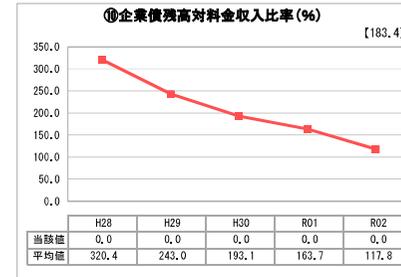
427

⑧設備投資見込額(千円)

830,000

⑨累積欠損金比率(%)

該当数値なし



分析欄

1. 収益等の状況について
 ①については、前年と比較して約70%増加しているが、これは、指定管理者が当初計画していた施設修繕が、新型コロナウイルスの影響により一部取りやめとなったため、約40,000千円の清算金が発生したことが主な要因である。仮に約40,000千円の清算金が発生しなかった場合の収益的収支比率は、約170%である。
 ②③については、他会計からの繰入金等がないため該当しない。
 ④⑤については、前述した清算金を差引いても、類似施設平均値を大幅に上回る。
 今後の方針として、新型コロナウイルス感染症の影響により、令和3年度以降も駐車場収益は当面の間伸び悩むことが推測されるが、今後も健全経営を続けていくために、更なる費用削減や経営改善に向けた取り組みを検討していく必要がある。

2. 資産等の状況について
 ⑥有形固定資産減価償却率について、当施設については地方公営企業法非適用事業であるため指標は算出されない。
 ⑦草加駅東口駅前広場は周辺と比較し、地価が最も高く設定されている。
 ⑨累積欠損金比率について、当施設については地方公営企業法非適用事業であるため指標は算出されない。
 ⑩企業債残高対料金収入比率について、当施設は企業債残高がないため指標は算出されない。

3. 利用の状況について
 ①稼働率について、当施設については類似施設平均を大きく上回っていることから、駐車場施設としての需要は大きいと判断される。
 しかしながら、新型コロナウイルスの影響により、令和2年度は令和元年度と比較して約20%減少しており、今後においても、更なる稼働率の向上のため、駐車場施設の改善や効果的な取り組みが必要であると考えられる。

全体総括

当施設は、草加駅東口第一種市街地再開発事業と併せ「草加駅東口地下自動車駐留場」の建設事業が実施され、駐車場整備が行われたものである。
 収益等の状況については、これまで収益的収支比率は100%を超えており、安定していると見受けられるが、今後発生する経年劣化による施設設備の更新や修繕に係る費用が必要になることから、設備投資に向けた財源の確保に向け、更なる経費削減や経営改善が求められる。
 令和3年度以降も新型コロナウイルス感染症の影響により駐車場収益が伸び悩むことが推測されるが、指定管理者制度の利用料金制の強みである指定管理者による自主事業を活用し、利用者へのサービスの向上を促進し、指定管理者と協働しながら安定した経営を目指していく。

経営比較分析表（令和2年度決算）

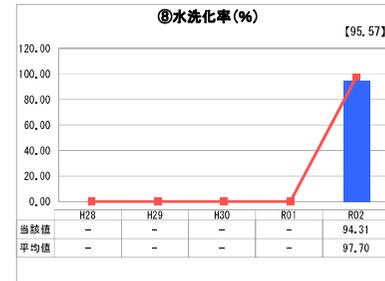
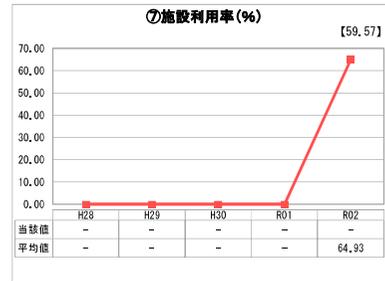
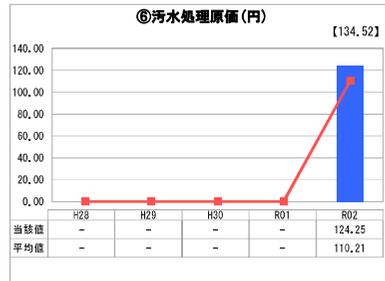
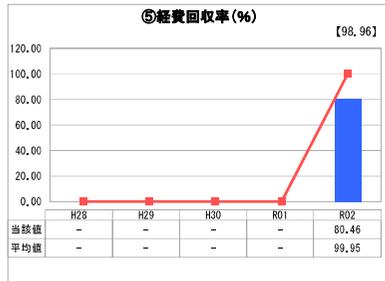
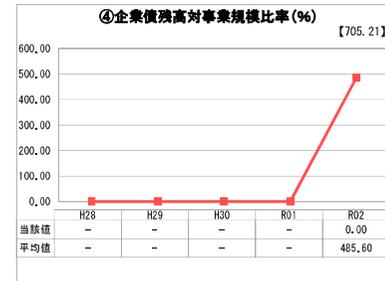
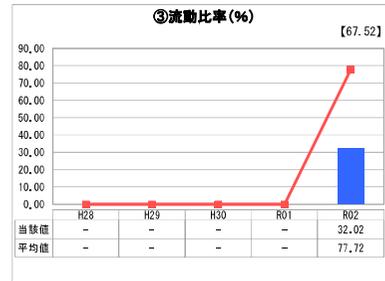
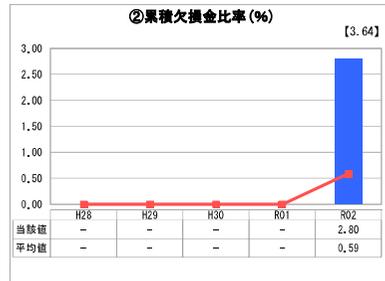
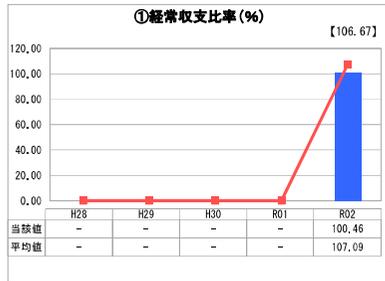
埼玉県 草加市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	公共下水道	Aa	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家賃料金(円)
-	66.97	98.00	88.01	1,947

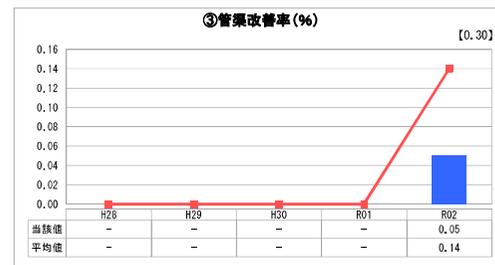
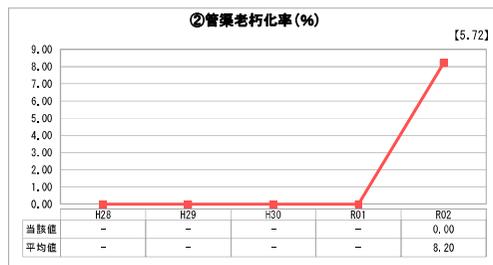
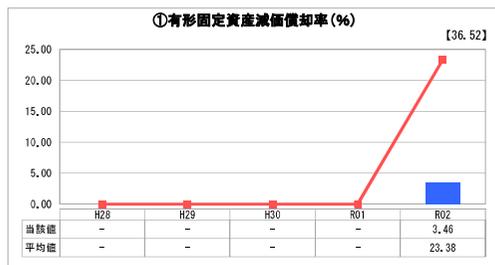
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
250,225	27.46	9,112.35
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
245,559	24.45	10,043.31

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 令和2年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①②経常収支比率、累積欠損金比率
 経常収支比率は100%を上回っていますが、類似団体平均値と比べると低い状況にあります。また、令和2年度は官庁会計から企業会計に移行した初年度であり、移行処理に伴う特別損失を計上しています。
 経常収支比率は100%を上回っていますが、下水道事業では基準外繰入金を支払入れていることから、引き続き水洗化率の向上などによる使用料収入の増加及び、管渠の維持・更新にかかる費用の抑制を図っていく必要があります。
 ③流動比率
 流動比率は100%を下回っており、類似団体平均よりも低い状況にあります。
 令和2年度は官庁会計から企業会計に移行した初年度であったため、現金などの流動資産が十分にある状況ではありません。今後、事業運営を継続するなかで、流動資産を増やしていく必要があります。また、企業債の償還が進んでいることから、流動負債は減少していく見込みです。
 ④⑤経費回収率、汚水処理原価
 経費回収率は100%を下回っています。また、汚水処理原価は類似団体平均より高い状況です。
 このため、使用料収入を増やすことが必要であり、水洗化率の向上を図ることや、適正な使用料単価について検討する必要があります。費用については、支払利息は減少していく見込みですが、維持管理に係る費用について大幅な削減は困難と考えています。
 ⑥水洗化率
 水洗化率は類似団体平均を若干下回っているため、水洗化の啓発や支援活動を引き続き行います。

2. 老朽化の状況について

①有形固定資産減価償却率
 有形固定資産減価償却率は類似団体平均を下回っています。
 これは、令和2年度は官庁会計から企業会計に移行した初年度のため、それ以前に減価償却した資産については減価償却累計額に計上されていないためです。
 ②管渠老朽化率
 令和2年度では、耐用年数を経過した管渠はありませんでした。
 ③管渠改善率
 管渠改善率は類似団体平均を下回っています。令和2年度策定の草加市下水道ストックマネジメント計画に基づき、計画的な管渠改善を行うなど、下水道の機能を維持していく必要があります。

全体総括

令和2年度は官庁会計から企業会計に移行した初年度であり、流動比率が小さいことから、現金などの資産を蓄積していく必要があります。
 経費回収率が100%を下回っていることから、経営戦略の見直しなどを行い、水洗化率のさらなる向上や、適正な使用料単価について検討する必要があります。
 汚水処理原価については大幅な削減は見込みませんが、適切な維持管理や令和2年度策定の草加市下水道ストックマネジメント計画に基づく計画的な更新を行うことで費用の抑制を図る必要があります。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。